

# 病院だより

Vol.7 2010 秋号  
2010年9月1日発行

ココロとカラダのメディカル通信

〒336-0931 さいたま市緑区原山3-15-31 TEL:048-882-2867 FAX:048-882-2887 URL:http://www.kyosai-hosp.or.jp/ 発行人:星野 徹

## 非常勤(婦人科・整形外科)医師ご紹介

### 婦人科



鈴木 有紀

平成16年(2004)  
鳥取大学医学部 卒

自治医科大学附属  
さいたま医療センター  
産婦人科 勤務  
日本産婦人科学会認定専門医

月



廣瀬 のりこ

平成16年(2004)  
福島県立医科大学医学部 卒

自治医科大学附属  
さいたま医療センター  
産婦人科 勤務  
日本産婦人科学会認定専門医

月



平嶋 洋斗

平成18年(2006)  
埼玉医科大学 卒

自治医科大学附属  
さいたま医療センター  
産婦人科 勤務

水



林 ゆり

平成17年(2005)  
福島県立医科大学医学部 卒

自治医科大学附属  
さいたま医療センター  
産婦人科 勤務

金

### 婦人科外来診療担当医

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:50 ~ 11:30	鈴木 又は 廣瀬		平嶋		林	
午後 1:00 ~ 5:00				本松 (婦人科)		

さいたま市子宮がん検診については、  
月曜日から土曜日に実施しています。

### 整形外科



河合 隆志

平成18年(2006)  
東京医科大学 卒

東京都教職員互助会 三楽病院  
整形外科 勤務  
東京医科歯科大学大学院

火



植崎 二葉

平成16年(2004)  
浜松医科大学 卒

東京都教職員互助会 三楽病院  
整形外科 勤務

木

### 整形外科外来診療担当医

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:50 ~ 11:30				植崎		
午後 1:00 ~ 5:00		河合				

## 中高年者における膝・腰の痛みとその予防法

第11回共済病院健康教室は、『中高年者における膝・腰の痛みとその予防法』をテーマに、この問題に治療の現場で日夜取り組んでおられる葛西循環器脳神経外科病院整形外科部長（前東京通信病院整形外科医長）の押田 翠先生にご講演を戴きました。

今回の講座は、男女を問わず多くの方が中高齢になると直面する切実な問題だけに、聴講希望者が多く、会場の都合で止むを得ず申込をお断りした程でしたが、当日も大勢の人にご来場いただき、急遽補助イスを増設して対応した次第でした。

講演は先ず中高年に多い腰の痛みの主因としての骨粗鬆症の定義説明から入られ、なりやすい人のタイプ、主な検査法と診断基準、症状、具体的な手術例等についてお話しされた後、治療法や予防法として食事や運動で注意すべき事項にまで言及されましたが、先生が自ら扱われた貴重な実物のスライド写真等も見せていただき、大変切実で質の高い講演となりました。

後半は、変形性膝関節症ですが、ここも病気の定義から入りその要因（特に肥満との関係）、症状、検査法、手術を含む治療法、進行を防ぐ上で大腿四頭筋訓練などのリハビリテーションの重要性や日常生活の注意事項等についてお話しいただきましたが、やはり、普段私たちが目にすることの少ない貴重な写真を用いて具体的にご説明戴き大変参考になるお話でした。



この中で、「ヒアルロン酸の注入が膝痛の治療に効果的であるがヒアルロン酸の経口摂取についての効果は証明されていない」とのお話は、日頃健康サプリメントを愛用している身には考えさせられる示唆でした。

講演終了後の質疑応答、それに続く個別相談にもかなりの時間を割いて戴きましたが、先生が最初に「人間は一生の内に地球5周に相当する分を歩く」とお話しされていたように、膝・腰は人間生活の根幹を支える重要な部分であるだけに、それにかかわる実践的な、それも最先端の学問的な話題を含めたお話を戴いたことは、参考になることの多い充実した講演会でありました。

### 病院ロゴマークを 作りました

思いやりの心を持って医療に取り組み、皆で大切なものを守っていききたいという私たちの思いを表現しました。

この度、当院ではロゴマークを作りました。実はすでに共済病院広報5号より紙面左上に使用していますロゴですが、みなさん、お気づきだったでしょうか。

昨年末に病院職員および関係者に公募し、22の作品が集まりました。院内でコンペを行い、職員が一人一票を入れ、最も得票の多かった作品に決定しました。当選したのは内科の村山先生の作品です。その意図するところは、共済病院の理念であります、



- 患者さんの生命・健康をイメージ
- 地域社会をイメージ
- ささえる病院スタッフの姿勢をイメージ

3つのイメージをあたため病院(=家)のかたちにシンボライズしました。

「安全で思いやりのある医療を提供し、地域を支えたい」という思いです。

さらに、ホヤホヤの情報ですが、病院を全面建てかえることにしました。詳しくは次号でご紹介いたしますが、約2年後には新しい共済病院になります。

これからも地域の皆様が安心して生活できるように、健康面で地域を支えてゆく所存です。どうぞよろしくお願ひします。  
(副院長 本松)